

## 第2号 南部箕蚊屋広域連合

# まめ・カフェ通信

### ～第2回まめ・カフェ開催報告～

平成29年9月14日(木) 18:30～20:00

伯耆町農村環境改善センター 多目的ホール

参加者 52名(参加者 43名、スタッフ 9名)

( 医師、薬剤師、看護師、理学療法士、介護福祉士、  
社会福祉士、介護支援専門員、施設管理者、その他 )

【 アンケート結果より 】(回収数:37)

まめ・カフェに参加していかがでしたか？

- 1.大変良かった 18名
- 2.良かった 18名
- 3.わかりやすかった 1名

### ミニ講座

#### 『在宅生活における 通所リハビリテーションの役割』



今回から、お茶代は皆さまからの募金で運営をさせていただきます。  
持ち込みも自由になっています。

お好きな飲み物を淹れてテーブルにつき、  
ミニ講座とそのあとの意見交換会にご参加いただきました☆

### まめ・カフェとは??

医療や介護、地域に関わる私たちの仕事ってまめでなければつとまらない。

「まめなかや？(元気ですか)」と、こまめな声かけが関係づくりの第一歩！…多職種が気軽に集ってまめに話せる場所が欲しい☆という声からできたのが、まめ・カフェです♪

大山リハビリテーション病院  
デイケアおおはら所長 富村 浩太氏  
にミニ講座として「在宅生活における  
通所リハビリテーションの役割」についてお話をいただきました☆



講座では、通所リハビリテーションでの専門職の役割についてお話しいただき、『実用性のある生活動作に沿ったリハビリテーションをしていく視点が必要。家屋状況の把握も一つの役割と思うので、気軽に相談して欲しい』とのお言葉をいただきました。



## 《参加者の感想》

- リハビリと介護は連携すべきだと思うので、今後も相談・共有していきたいと思います。
- 他職種と意見交換や情報支援ができ、今後の業務にいかせること、専門職のPTの役割と必要性について、再確認できてよかったです。
- アセスメント評価をする上で重要なポイントを再確認できた。ケアプランに反映できるようにすることが重要と感じました。
- デイケア、デイサービスの定義上の違いが知れてよかったです。



- リハ職さんの神対応にはいつも頭が下がります。果たして利用者様の意向が叶えてあげられるのか疑問に思うことも専門職ならではの知識と技量で自立支援に繋がったケースが多々あります。
- 他職種の話を聞ける機会は意外とない為、とても勉強になりました。
- 何よりも連携が大切だと改めて実感しました。
- 今まで知っている、分かっているつもりだったことが意外と理解できていなかったんだと勉強になりました。



- 【 今後の取り組みについて…ご意見、ご要望等 】
- 認知症の対応について、一人暮らしはどこまで可能か、ディスカッションの機会を作ってほしいです。
  - グループディスカッションの時間を、もう少しただけるといいと思います。
  - 老夫婦・二人暮らしで生活されている方との関わり方について考えたいです。
  - 皆さんの前での発表は、少し参加者の負担となるかもしれませんね。
  - 歯科や口腔外科系、嚥下についての研修を希望します。

**アンケートにご記入いただいた内容の一部をご紹介させていただきました。  
ご協力ありがとうございました。今後の会の活動に繋げていきたいと思ひます。  
次回も、皆さまのご参加をお待ちしております！**